

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年4月1日

仕事の内容	明るい選挙啓発事務					
担当部署・課長名	選挙管理委員会事務局	課	選挙	係	課長名	塚原 健彦

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行	2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)		122	

予算名	款	2	総務費	項	4	選挙費	目	2	選挙啓発費	事業	2	選挙常時啓発事業費
-----	---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------	----	---	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 選挙人名簿登録者(今後選挙人名簿に登録される者を含む。)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 選挙人名簿登録者数(9月定時登録)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 政治と選挙に深い関心と高い意識を持つ。 投票総参加ときれいな選挙を実現する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 投票率
	③ そのために何をしましたか。 ①選挙啓発広報紙「明るい選挙ひがしやまと」を発行した。 ②委員視察研修を実施したほか、外部の団体が主催する各種研修、講座等に積極的に参加した。 ③市内各小中学校から明るい選挙ポスターコンクールの作品について提出を依頼し、入選作品を東大和市役所1階ロビーで展示した。 ④成人式会場で模擬投票「ひとこと投票」を実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①発行部数 ②視察研修参加人数(選管委員を含む。) ③一次審査対象作品点数 ④模擬投票者数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	回	71,276	71,251	71,201	
	成果指標	②の数値	%	58.48 <small>(参議院議員(都))</small>	53.76 <small>(東京都議会議員選挙)</small>	-	
				60.32 <small>(都知事選挙)</small>	53.81 <small>衆議院議員選挙(小)</small>	-	
	目標	②の目標値			100	100	100
目標値設定の考え方		選挙管理委員会において付議すべき事件数のすべてについて付議する。					
活動指標	③の数値		①5,000 ②20 ③28 ④162	①5,500 ②22 ③26 ④188	①5,500 ②19 ③26 ④75		

3 経費	事業費(実績)		円	260,308	320,896	301,187	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	260,308	320,896	301,187	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	8,233,000	8,267,000	8,244,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	8,493,308	8,587,896	8,545,187		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和26年の第2回統一地方選で腐敗の慣行が横行したのに続き、翌年に予想されていた衆議院議員選挙に向けて激しい事前運動が行われたことから開始されたものである。(公職選挙法第6条:選挙に関する啓発、周知等)
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 投票率が大きく低下しており、近年では、投票総参加ときれいな選挙の実現を目指し活動している。

仕 事 の 内 容	明るい選挙啓発事務			
担当部署・課長名	選挙管理委員会事務局	課	選挙	係 課長名 塚原 健彦

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	近年、投票率が低下傾向にあり、特に20～30歳代の投票率が低く、より一層の選挙に関する啓発、周知等が求められている。			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	③ ⑥	
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	明るい選挙啓発事務を行っているが、結果として投票行動に結び付いていない。（一朝一夕で成果をあげるのは難しい。）			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	前年度同様、以下の事業を実施した。 ①広報紙の発行 ②委員視察研修等の実施 ③明るい選挙ポスターコンクールの実施 ④成人式会場における模擬投票の実施			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
今年度は選挙が執行されていないことから、上記取組活動の成果を数字で評価することは困難ではある。投票率の低下は全国的な傾向であることから、引き続き、地道に明るい選挙啓発事務を継続していく必要があると考える。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	政治意識の高揚と投票率の向上に結び付く啓発のあり方を検討することが求められる。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。